

## 第 20 回

### 修了考査のお話

論文式試験合格者の皆さん、こんにちは。

合格おめでとうございます。

今回のお話は修了考査についてです。

皆さんが正式に公認会計士として認められるためには、この修了考査に合格しなくてはなりません。実務補習所での課題を全てこなした者の前に立ち上がる最後の関門です。皆さんにとってはまだまだ先の話ではありますが、ここでは修了考査に備えて知っておくべきことをお伝えし、少しでも皆さんのお力になればと思います。

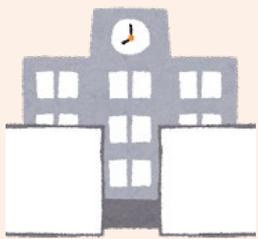


修了考査では、論文式試験の勉強で身につけた知識をベースに、より実務に則した応用力が求められます。

こう聞くと難しい試験のように思えますが、実際には当時の知識で対応できる問題も多いですし、実務に関する問題への対処法については、実際に監査法人で働いているうちにある程度身についてくるので、そこまで身構える必要はありません。

とはいえ、新しく覚えなければならないこともそれなりにあるため事前対策は必須です。特に税務は相続税法など論文式試験には無かった税目が登場するため、おそらく最も厄介な科目でしょう。

そこで最も手堅い対策としては、皆さんが公認会計士試験を受験する際に通っていた予備校をもう一度利用することです。基本的にどこも修了考査対策講座



なるものを設けているはずなので、それに申し込みましょう。あとは同じように勉強するだけです。

このように対策自体はシンプルなのですが、最大の問題は監査法人に勤務しながら勉強しなければならないということです。元々働きながら勉強していた方

ならともかく、そうでない場合、これが結構な負担です。

この点でアークは、修了考査受験者に対するサポートが比較的充実していると個人的には感じています。まず、アークでは繁忙期を除けば残業はさほど多くなく、終業後に勉強時間を確保しやすい環境にあります。また早い年次から様々な業務に関わる機会が多いため、実務に関する問題への対処法が実際の経験として身につけやすいというメリットがあります。

さらに先述した予備校の受講料についても事務所が一部負担してくれるため、金銭面のケアも万全です。もちろん試験前の休暇も十分に取得できます。

修了考査の勉強は大変ですから少しでも勉強以外の負担は軽くしたいですね、、そういった観点からも、ワークライフバランスを重視するアークへの入社をご一考されてはいかがでしょうか♪

